

風俗画報

索引

一

ア行

R380.5-F99ウ



1200800312858

R380.5

F99



始



箱23-8

R
380.5
F99

風俗畫報索引



卷一

了行

大正
8. 10. 13
購求

風俗畫報索引

凡例

一、本編ハ東京堂發行風俗畫報第一號(明治二十二年二月發行)ヨリ第四百七十八號(大正五年三月發行)ニテ発行ニ至ル迄、各冊並ニ同雜誌ノ臨時増刊大日本名所圖會其他等悉皆ニ就テ内容標題ヲ件名ノ下ニ編收シ字書體ニ排列シテ搜索ニ便ナラシメタルモノナリ

一、排列法ハ件名ノ五十音順ニヨリ又一件名ノ中ハ標題首字ノ五十音順ニヨル但少數年代順ニ從ヘルモノアリ
一、件名標題ノ讀ミ方ハ普通假字遣ニ從フ但イ、エ、オ、カヲ
ヲ區別セズ

一、同一物ニテ異名アルハ或ルハク一個所ニ集メ他ヨリ考

照ラ附シタリ

一、此冊子ニ擧ケタル数字ノ二段ナルハ上ハ辨數、下ハ頁數ヲ示シ一般ナルハ辨數ノミニテ其冊全部或ハ大部分其記事ニ関係アルヲ示ス

一、挿入ノ繪画ハ挿入場所ノ前頁ヲ擧ケテ其位置ヲ示セリ例ハバ四ニノハトアレバ第四十二辨ノ第八頁ト第九頁トノ間ニ挿入シアルモノナリ

目次

ア	一
イ	一八
ウ	三九
エ	五六
オ	六八

風俗畫報索引

ア

藍

耕作の圖解説「圖」 田口年信 (二四〇、一五)

愛知縣 尾張國「三河國」も見よ

三重岐阜 若所かみ 一風庵生 (三三〇、三四)

アイ又 熊祭も見よ

人の風俗 小川白羊 (二六二、一九、二六四、二〇)

一 杯前藩主の年礼の事 (六三、七)

蝦夷婚礼法「圖」 澤田雪溪 (三三、一、二)

蝦夷人の遊戯トコムマカリ (五七、一四)

アイ

樺太 — 結婚の奇習談

(四四〇、一〇)

北蝦夷地の風俗圖

画報生

(三二二、二八)

東西蝦夷家作図解 附室内什具

画報生

澤田雪溪

(二七、一三)

北海道土人熊送り図及解

澤田雪溪

(二八、一一)

北海道土人の風俗「因文」

枕石生

(一〇、一一)

アイ又語

東北方言と

画報生

(三五五、一八)

相可

伊勢 — 旧蹟

千種堂常城

(二六八、三五)

奥州

陸奥國をも見よ

旅日記

渡部乙羽

(一八、一三、二二、二〇、二六、一五)

鸚鵡石

多稼の屋

(一四四、三五)

白馬節會

山下重氏

(一〇六、七)

正月七日 — 之圖

(一ノ二)

白馬祭

河鹿島神宮を見よ

青葉飾

山形の初齋賣と

河名雅齋

(二六八、四)

青物市場

神田 — 記念大懇親會「因文」

山下重氏

(二六五)

一三

枇杷島の

素朴生

(四七一、一三)

赤井景昭

凄惨たる兜徒の末路 山嵐居士主人 (四五二、一六)

赤筆 (土佐國香美郡別府村)

— 月菴堂 (三二四、四二)

赤阪區

新撰東京各所園會第三十七編、第三十八編、— 二部

(二六三、二七一)

赤阪奴

— (二六三、四八)

明石神社

磐城國 — 小泉漲 (二七〇、三四)

赤津 (尾張國東春日井郡)

赤穂義士

— 三浦おいろ (三二二、四三)

— の打入には陣太鼓なし 山下重氏 (四四四、三二)

赤穂浪士復讐記抜萃 方寸舎 (二四〇、三九)

義士大石良雄寺最期に塙圖 (二二、附録)

義士追想會 山下重氏 (一八三、一五)

義士の提灯と看板 守田寶舟 (五八、二二)

高輪泉岳寺義士の墳墓並に木像考観の圖

山本松谷画 (一一〇、首)

本所松阪町二丁目 — 復讐の旧蹟 (村田丹陵画入)

山下重氏 (四四二、四一、東京の今昔第一)

赤穂義士碑

アカ

三

泉岳寺義士碑の再興 (四〇八ノ一三)

赤松鑑則

一族の古墳(兵庫縣加西郡北条町の内)

春迎舎すみれ (三五九ノ三五)

赤祭

孝州豊橋正月十三日一の图解(四六) (六四ノ六)

赤間関 以下、関を見よ

赤間宮

一 女郎考拝略記(四六) 川村三尺 (二三五ノ四)

官幣中社一記 川村秀介 (二二九ノ二四)

赤山神社(京都)

一の遊園地 数島道成 (三一六ノ三六)

赤湯温泉(山形縣東置賜郡)

一 河名文助 (二七三ノ五六)

秋

諸人往来之図 (六七、五二、江戸歳事記、内)

秋草

一 および其聴きの記(四六) 渡部乙羽 (三三ノ二〇)

秋の七種 久永章武 (二六ノ二二)

寺島村百花園の秋の七草図 (六七首、江戸歳事記

ノ内) 二橋一を觀る(岡田梅村画入) 山下重氏 (二七二

三)

百花園七草の図 手崎廣業画 (一〇、二首)

アカリアキ

四

百花園に七草を觀るのしおり 山下重氏 (一〇二)

(二)

廣尾一四及解(東都歲事記抜出) (五八、二九)

別業の秋園「山本松谷画口絵入」 花渡生 (一九六、二)

秋田

一 男鹿島石勝 (大日本石勝岡会第六十九号 明治四十二年七月)

秋田山王祭

一 七夕祭「四六」 外屋積山 (七六、一一)

秋田鐵道開通式祝賀會

一 景況 旭水 (二六〇、一一)

秋元喬知

禁裡寺造管の 一 奉行を戒む 桔梗 (三五〇、三九)

初冠

一 吐月居士 (四三、一一)

淺井暁

加賀園 一 金崎不老庵 (三三二、三八)

朝顔

一 山下重氏 (二〇、一一)

一 千種堂枳尺 (九七、二〇)

一 「山本松谷画表紙絵」 花渡生 (一四八、二)

一 「四入」 山下重氏 (一七二、二三)

一 「流行」四入 内藤誠 (二五六、一一)

牽牛花品評會「四入」 山下重氏 (一七〇、一一)

牽牛花品評會 画報生 (一九四、一一)

アコイヤサ

五

牽牛花品評會 画報生 (一九六、一九)

入谷の——「名和永年画入」 馬淵漁史 (四五、二四)

入谷の名物調む 淺紋字 (四四九、一〇)

宇治——園 紅の家おいろ (二三五、一八)

穰久会の——陳列会 画報生 (三二四、六)

朝顔賣

——園 (四三、裏絵)

淺黄裏

—— 秋の屋主人 (三八五、二〇、江戸風俗句解ノ内)

淺草

——の賑い 渡部乙羽 (二七一、一七、一九、一九)

昔の—— 方寸舎 (四五八、二九、四五九、三三、四六三)

一五、四六四、二〇)

淺草市 近年の市を見よ

淺草區

新撰東京各所園会第五十四編至第五十八編、——之部

(明治四十一年四月、五月、六月、七月、九月)

淺草觀音

淺草寺の繪馬 桂川中良 (四五七、七七)

淺草觀音開帳

——稚児の行列の圖々 (五三、一六)

淺草觀音四萬六千日

——考詣の圖 山本松谷画 (一五九、一一)

淺草公園

— 地奥山釣橋真景「因」 (一〇、首)

— の火災「名和永年画入」 画報子 (一一四、三)

新撰東京名所図会第三編 至第五編、— 之部

(一三三、一三九、一四一)

柳橋と奥山の今昔 島田平雨 (四七六、一五)

浅草三社権現

— 流鏝馬図 (六一、江戸歳事記、内)

三月十八日 — 祭礼図 (六一、江戸歳事記、内)

浅草神社

— の神事舞「寫真入」 しげたみ (四五一、二〇)

浅草海苔 「油苔」と見よ

朝倉山

朝倉義景の城址(越前) 友永堅 (三一八、三六)

浅田宗伯

— (二八二、四〇)

麻布 「近江」 — とも見よ

浅野川大橋 (金澤)

— 渡橋式 五峰庵 (二七六、四)

浅野長政

— 三百年祭 (四〇八、一一)

浅機沼の島おげ

静岡近在 — 香雲 (二四五、七)

麻布區

新撰東京名所図会第三十五編、第三十六編、— 之部

(三四八、二五八)

淺間山

—の噴火(明治四十二年十二月七日)〔地用乙〕(四〇六、三五)

天明年中淺間嶽焚崩記事 伊藤生(七四、二五、七六、

七、七七、一三、七九、六)

蘆 二瀨萩をも見よ

足尾銅山

—坑夫の暴擧〔因乙〕 画報生 (三五九、一五)

—巡覽日誌〔因乙〕 吾妻掬翠 (二一八、二三、二九、三〇)

—図會 (二三四)

足利尊氏旗立の柳

—宇野著山 (二七〇、三六)

足利町 〔東武鉄道をも見よ〕

—〔因乙〕 (七四、二九、江戸市中世渡り種、内)

明治十年頃の—〔因乙〕 田口年信 (二四九、一二)

蘆牧温泉

岩代— 春二生 (二四二、二七)

蘆原温泉(越前国坂井郡)

— きの字生 (三六八、二六)

蘆邊踊

大阪南地— 永井李蹊堂 (三一四、二七)

大阪南五花街甲部演舞場〔因乙〕 (一四八、二八)

浪花風流—の図 遠藤耕溪画 (一四八、首)

飛鳥路 (山城國相楽郡笠置村)

他所と交際の出来ぬ村 (三八九、一九)

飛鳥山

—の花見図 (四三二、八)

新撰東京名所図会第十一編各公園の内 (一五五)

遊び人

—「因入」 花渡生 (一三二) 三、江戸市中世渡り種

(内)

安宅の関 (加賀國)

—址 南山人 (四四四、三五)

安宅寨址 不老庵 (二七三、三四)

安宅丸

—「因入」 高橋おろか (三三一、一五)

愛宕神社

麴所、愛宕清水谷公園、新撰東京名所図会第九編 (一五一)

六月廿四日芝愛宕社十日参図 (六五、四三、江戸歳事

記、内)

安達原

—の鬼婆 横田曉峰 (三七七、三三)

熱海温泉

—「写真入」 画報生 (三二六、三七)

熱海の家(と) 小中村清矩 (一六六、三〇)

文政年間熱海客舎の光景図 歌川國安画 (四〇四)

(二四)

味

香の美とーの美 薩南生 (四九、一七)

小豆粥 三十五日ーの祝をも見よ

ーの事 荒本用見重 (二二五、五、五十鈴の落葉、内)

赤豆餅地藏

山形のーと團子稲荷 河名雅齋 (二六七、一〇)

熱田

名古屋市ー名勝 千種堂婦成 (三六八、三三)

熱田澤の七観音 (尾張回)

ー 敷島道成 (三五七、三九)

熱田神宮 月御衣祭をも見よ

東遊

ー並和琴の事 (二一、三)

日光山ー之園 寺崎蘆葉画 (二一、二四)

吾妻川

上野名川ー 石倉翠葉 (一八八、三一)

東會

東京新橋ー 蕉雨生 (一四四、三四)

東京新橋ー新曲座付唄 通い喃史 (一五六、二九)

東嶽

ー紀勝 春日部春二 (二四三、二九)

東長者

ーの話 横田曉峰 (三七七、三四)

吾嚙村

— (大日本名所図会第八十号、東京近郊名所図会
第五、東部の部其二、内)

常てもの

— 永井洗村 (七三、二七)

穴水村

能登國鳳至郡—風俗 池田ツチノム (一三八、二六)

一四〇、一〇、一四一、一五、一四六、七、一四八、八、一五〇、七、一五二、

一四、一五六、一四、一五八、九、一六〇、一四、一六五、七、一六六、

六、一六八、八、一七〇、六、一七三、九、一七六、一、一七八、二〇)

粟ヶ崎の祭禮 (加賀國石川郡)

— 五峰庵 (二七〇、一三)

淡島神社 (紀州加太) 早おはぐろ壺も見よ

安房神社

— 古蹟畚田入 柳溪釣史 (四八、八)

粟津温泉

加賀國— 辰川芳翠 (二四〇、二五)

阿波國

阿波の奇譚 山下重氏 (四七一、二八)

安房國

神社

安房國延喜式社考 蘆園家 (四一九、二六)

粟祭

臺灣阿里山蕃の— 画報生 (三三二、二〇)

粟餅曲つき

會津 一「夏」 (一四六、三四、江戸市中世渡り種、内)
神佛詣「圖」 春二生 (二二五、二七、二二七、二四、二二)

一「年中行事」 春二 (二六四、六、二六七、七、二七〇、四、
二七三、八)

扇 一「袖」 (一七三、八)

一「團扇」 (四七一、四五)

一「子考」(圖) 大塚嘉樹 (二〇、一八、二二、一五)

京都賣扇廣四十八画扇 官島春齋 (二六一、五)

御影堂 一 官島春齋 (七〇、一一、京名物、内)

扇折

扇職 一「圖」 武櫻生 (七九、一九、江戸市中世渡り種、内)

一「圖」 (一四六) うきよ (一五〇、三三、江戸市中世渡り種、内)

扇箱買

一「圖」 (一〇六、裏絵)

阿武隈川

一「親月の記」 渡部九羽 (七七、二七)

葵祭

一「近江麻布」 中山嘉三郎 (三一六、四〇)

近江のお籠

一「圖」 (六四、裏絵)

油揚

四日市の | 伊達虎峰 (三二〇、二三)

油絞

| 周 尾形月耕画 山下重氏解 (一六六、一一、新)

| 模百工圖其六十四

油山の瀧 (遠江國山笠郡和田同村)

| 中山元治 (二六一、二二)

あがり餅

今宮 | 官島春齋 (七二、一三、京名物、四)

天兒

| の辯 (四六) 東附東考 (九、一七、一〇、九)

雨具

| 五年を以見よ

常世 | 解 (四六) (二二、一五、三一、一六)

雨乞

| 八子踊、花踊を以見よ

| (四六) 一枚 (二〇、六)

| の牛曳 福田菱洲 (四二五、一二)

| の良風俗 清華堂主人 (七四、二二)

美濃國山縣郡任自良村の | ぬまを (三七三、八)

雨乞奈

| (山形) 河名文助 (二五三、六)

甘酒奈

濃州相生の | 江口頼柳 (四四三、一七)

鯨戸

| の里 深津野 (四二六、二九)

編笠

笠をい見よ

元禄頃男風俗——因解 (五一、一五)

阿弥陀ヶ瀧 (美濃國郡上郡北濃村)

—— 吾妻家小メ (三四三、三三)

網曳

六月九日千住大橋——因 (六五、三七、江戸歳事記

ノ内)

鮎

金澤の玉——棒——福助—— 五峰庵 (三〇七、二五)

鮎市

信濃松本—— 小山珍事堂 (一三二、二二)

信州松本の—— 樂山草堂主人 (六四、一八)

鮎賣

骨—— 唐人鮎をい見よ

——因入 對原堂主人 (三四、七)

——因入 醉霞居士 (九一、七、今様職人畫因解ノ内)

——因入 松谷画表紙画 栴檀 (三二六、二一)

——因入 濱田吹洗 (三五二、六、京都の物賣ノ内)

——因 (四七、裏絵)

鮎屋「因入」 (七二、二七、江戸市中世渡り種ノ内)

力—— 春通舎すみれ (三三八、九、四日市の物賣ノ内)

長壽鮎「写真」 (四四一、四〇)

東京の——因 永濯画 (三ノ裏絵)

鮎賣腰舟馬 出立ニホルをいよ

鮎曲吹

—「因入」 渡部乙羽 (四八、一五、江戸市中世渡り種

其四、内)

兩宮敬次郎

兩宮氏の還曆賀宴「因入」 色報生 (三五四、二二)

兩の宮猊踊

—「名和永年画入」 (二四二、一八)

信州— 逸人居 (二八七、八)

兩晴し(越中圖)

—の海水浴 瓦山人 (三四六、三三)

鮎湯

—「因入」 花淚生 (一七〇、三九、阿波徳島風俗、内)

亞米利加合衆國 「徳川幕府遣米使節を山見よ
阿武の戴き

—「阿波國阿武の風俗」 鳥居龍藏 (七、一七)

綾瀬村

「南」を見よ

あやめ 「葛蒲を見よ

鮎賣

—「因入」 瀧田以洗 (三七二、六、京都の物賣、内)

嵯峨—男 春齋主人 (二四八、一六、京都賣物屋の

風俗、内)

鮎かけ

—の事 和田完 (三三、一二)

—の事「因入」 (四九、一四)

點粉漬

—の法「用入」 櫻井敏 (三〇ノ一〇)

點膏

—の漬法 櫻井敏 (三〇ノ一〇)

點漁

五十鈴川——宮川點取の神事 (三九九ノ五)

多摩川の——「富田秋香画入」 山下重氏 (一七〇ノ五)

玉川の點 香雨生 (二五六ノ一〇)

新井の薬師堂

— (大日本名所図会第九十一号、東京近郊名所用

会第十六、西郊の部其四ノ内)

荒川堤

「花見」と見よ

—の櫻

(大日本名所図会第七十七号、東京近郊名

所図会第二、北郊の部其二ノ内)

—の附近 (大日本名所図会第七十八号、東京近郊名

所図会第三、北郊の部其三ノ内)

荒木田久老 加度會神主松本算考に贈りし手簡 伊勢浦人

(三三五ノ三一、伊勢名家手簡ノ内)

—の手簡 有瀧園風 (三二五ノ三三、伊勢名家手簡ノ

内)

荒島岳

越前國大野郡——附近の風俗 (四七七、二一)

嵐山

— (大日本名所図会第七十三號、京都名所図会卷六、洛西の上ノ内)

あらひや

— 「因入」 黒崎修齋画 (三二二、二、浪花風俗百圖ノ内)

あらもの屋

現今名商店の圖、第四— 圖 小本松谷画 (八五、首) 其解 (八五、三一)

阿里山

— 開葵の原因「写真入」 羽南生 (四四四、五〇)

有田ま(り)

— 「因入」 川崎千虎 (九九、三)

有峰村 (越中國)

— 瓦山人 (三二二、一一)

あわ飾

— 「因入」 花浪生 (一一〇、二九、江戸市中世渡り種ノ内)

暗号

大改堀江の— 「因入」 田口年信画、其解 (二四七、七)

安國寺

(出雲國八束郡竹矢村字寺床) —、附京極高次墓「因入」 小川寅一郎 (三五九、二六)

安神車

— 「因入」 (七二、二一)

安針塚

(相模國三浦郡遠見村)

— 画報生 (三一八、四〇)

行燈

— 方寸舎 (四〇、二七)

— 「四六」 高橋静陵 (四八、二五)

— 考 い、かじめ (二〇、二五)

蕎麥屋の — 「四六」 江戸散人 (一九六、一四、江戸時

代百萬燈ノ内)

挑燈及 — 「四六」 (一八、一六、二一、一三)

按摩

— い、かじめ (一七、一一)

— 圖 (六三、七、江戸市中世渡り種ノ内)

伊勢地方 — の渡世 正悟久生 (三七九、一一)

女 — 阿井飛洋 (四六九、三四)

安樂坊

寶未豆を賣る — (嘉永頃大阪に) (二八、九、菜園見

聞記ノ内)

イ

居合拔

— 「四六」 (七三、七、江戸市中世渡り種ノ内)

— 圖 (二二、三、裏絵)

井伊直弼

日比谷公園内井伊掃部頭銅像設置許可 橋香居

(一九六、一)

遊戯

學校に於ける雪中——

(三三〇、三四)

各地子供遊戯

(二〇六、二一、二〇八、一一、二一〇、一三、二二)

二三、二一四、一八、二一六、二一、二一八、一九、二一九、二五、二二五、二二五、二二五、

二二五、一六、二二五、二四、二二七、一五、二二九、一五、二三〇、二一、二二

二、三一、二三五、二〇、二三七、一五、二三八、二五、二四〇、二〇、二四三

一六、二四三、一九、二四五、二三、二四七、一一、二四九、一二、二五二

三一、二五五、二五、二六二、二六、二六四、一九、二六五、二二、二六七

二四、二六八、二六、二七〇、二六、二七三、二七、二七五、二六、二七八

二六、二七九、二八、二八二、二七、二八七、三〇、三一〇、一九、三一三

二八、三一四、二七、三一六、二五、三一八、二二、三二〇、二五、三二四

二〇、三三二、二五、三三九、二四、三四三、二一、三四六、二三、三五〇

一八)

紙製の遊魚

画報生

(二三五、二〇)

古今室内——餘談

永沼山一郎

(三八一、九、三八三)

一〇、三八四、五)

古来の児童——

寶相寺一二三

(四七〇、三四)

子供遊戯とそのきく

左文郎

(四五二、二五、隨感録

ノ内)

讃岐國琴平童子——の一斑

真島琴山

(三七七、一五)

十二ヶ月の内一月庭内——の圖

山本松谷画

(一八〇、首)

新——「西入」

(三、一六)

新古童遊戯

廣田星橋

(二〇二、二六)

猫買心遊「因入」 田口年信画及解 (二七三、一六、浪)

花風俗百圖、内

普通教育ニ於ケル体操——取調報告 文部省

(三三四、二五、三三六、三〇、三三八、二二)

燐寸の曲藝 画報生 (二二五、一九)

理化學實驗上の——「因入」 坪川辰雄 (二一八、一八、

二一九、二四、二二二、一五)

遊廓 同場所 芝居言葉「新町」——「吉原」——見よ

全澤——の揃浴衣 早通家奴 (二二七、一〇)

京都遊里の新年 宮島春齋 (一〇六、一三)

三都遊里の正月、附北里十二時「因入」 おろか (三七、

二五、三八、二二、三九、二四、四二、三〇)

娼家法式(喜多川歌麿画、青楼年中行事、内「因入」)

渡部乙羽 (三〇、一六)

能登国邑知——の針威暮 池田ひなろよ (二二三、四)

流連無用の御觸書 江本定男 (四六七、六、風俗閑話

、内)

郵船會社

郵船會會 (二三九)

友仙染

—— 宮島春齋 (七四、二七、京名物、内)

遊女 三勝山「傾城」白拍子「瀨川」高尾、玉菊

「八朝白小袖」夕霧を「見よ」

——異名考 椎乃舎主人 (二七〇、八、二七三、一五、二七六、

一〇、ニ七八、二四、ニ七九、一九、ニ八三、一〇、二〇七、一八、三三〇、
五)

—六千(東京管内) 一記者 (四六八、三六)

古の—、今の娼妓圖 寺崎廣業寺画 (一六、裏繪)

上杉鷹山侯の奏唱論 壺天居 (四四七、三九)

寛政年代—拳酒を打(の)圖 西川祐信画 花淚

生解 (一二七、一四)

寛文の太丈周解 (五一、一四)

娼婦論 珂北仙史 (一四、一)

新吉原新編辨樓の女子会(富田秋香画入) 蓬軒在
士 (一八七、一一)

新吉原呼出し 五波亭風貞画 山下重氏解

郵便

(一三九、二〇、浮世名異々圖会、内)

世界の—風俗(写真) (三八、二〇)

郵便切手

時代の風俗を示す古切手 (四七〇、三八)

郵便切手貯金

— 坪川辰雄 (二〇八、六)

郵便電信句

郵便物發送の圖解(久保田金僂画入) (七二、二〇)

東京—内部圖解(久保田金僂画入) (五二、一八)

東京—事務室圖解(久保田金僂画入) (五七、一二)

東京—郵便物發送の圖解(久保田金僂画入) (六二)

ハ)

東京——「保田金僂画入」 (一九八、一二)

郵便配達の合図器

——「四八」 画報子 (一八八、一四)

郵便博物館

——「四八」 橋本桔梗 (三六八、五)

——の開館 画報生 (三七九、一〇)

郵便博覽會

——諸陳列品の図 山本松谷画 (三六九、内)

郵便物集配人

——の整列図解「保田金僂画入」 (五八、一五)

郵便配達支図 年忠画 (一三、裏絵)

幽霊

時代風俗と—— 内海如水 (四四六、一三、四四七、一七、

四四八、二三、四四九、三)

岩内石観音

伊勢の—— 吉嶂画人 (三四〇、三二)

醫學館

旧幕府の——「富田秋香画入」 冬田杏村 (一九六、六、

二二五、一一)

鑄掛師

——「四八」 渡部乙羽 (四六、一五、江戸市中世渡り種

其二、内)

——用 尾形月耕画 山下重氏解 (一三八、一〇、新撰

イウ

二二二

百工圖共五十四

伊香保

—の風俗「圖入」 蟹陽生 (三三四、七、三三六、一九、三三〇、

六、三六四、二四、三七二、九)

上毛 — 榛名間新道開鑿光景 香山人 (二四〇、二二)

碓氷治職

— 尾形月耕画 對原堂主人解 (七六、一三、新撰

百工圖共二十六)

生身地藏堂 (上總國長生郡鶴枝村)

— 鶴枝山人 (二六二、四〇、二六四、四〇)

育児法

未開種族の — 「圖入」 大久保幸次 (三九一、二五)

生國魂神社

大阪 — 夜櫻の景 田口年信 (二六七、一一)

生國玉比古神社

能登國 — 池田ツケル画 (一六〇、五)

生洗屋

— 田口年信画及解 (三四〇、七、浪花風俗百圖

ノ内)

池上村

— (大日本名所圖會第八十五號、東京近郊名所圖

會第十、南部の部共四、内)

池田筑後守

— (幕府より歐洲派遣の使節奥圖共二) (二二、首)

犠牲 イケ 日犠牲条を見よ

池の平 (遠江國周知郡奥山村池甲山)

— 春迎會すみれ (三五九、三五)

生花

— 獨まなび「画入」 黄眉山人 (四〇、一〇、四二、六、四四、

六、四六、一〇)

— 「道あるへ」画入 花々本宗寿 (四七、八、四八、一三、

四九、一四、五〇、一六、五三、五五、五九、二五、五六、二四、五七、二三、

五九、二五、六〇、二五、六六、二八、七〇、二四)

遠州流「花の事」 時雨庵榮山人 (五二、二七)

柳花説 野口勝一 (四二、一)

柳花の由来 宮崎島府 (四七〇、四四)

新年の — 花々本宗寿 (六三、三一、一〇六、二八)

園著

トラウガ — 及歌かるた「富岡永洗画入」 (三八、一五、三

九、六) 画 (三八、首)

みこもり (山城國紀伊郡祝園村)

— 敷島道成 (四二八、四)

いさやまき (歌)

— 佐藤古玩 (一三〇、四)

石

— の長崎 きりり (二四三、一五)

大隅國加治木 — 齋雜舎主人 (二七六、一七)

神都奇巖 — 洞亀園主人 (二七六、三四)

イコイシ

二十四

武道ヶ原の鮎 — 瓦山人 (三一四、三九)

醫師

— 圖 (一、六、永澤画、江戸歳事記正月の圖、内)

醫者「河入」 画報子 (二二、三九、江戸市中世渡り種、内)

漢医、洋医圖 (二九、裏絵)

出張醫「河入」 賀陽生 (三二八、五、甲斐世渡り種、内)

石川郡

加賀國 — 一部の風俗 南山人 (二〇四、二四、二〇六、

二二、二〇八、一〇、二一〇、一三、二二二、一三、二二四、七、二二六、五、

二二八、八、二二九、一、二二一、五、二二七、八、二三〇、八)

石川丈山

— 白筆、わたらしの歌 (四四四、首)

石凝 (丹波國南桑田郡法貴村)

藤の名所 — 宇野著山 (二六八、三八)

石採祭

桑名 — の由来 (三九九、六)

石の水 (加賀國石川郡笠岡村字石立)

— きの字生 (三四九、三二)

石室

船玉 — 「河入」 珂北仙史 (九〇、一八)

衣裳幕 花見幕を見よ

維新志士遺墨展覧會

— (四〇、五、九)

伊勢音頭

おやま踊を見よ

小川稠吉 (一三四、二)

神都盛踊 | 有瀧園風 (一六八、六)

伊勢考宮 | 通カサ考リ又拔キヨモ見ヨ

| 業内歌 | 小川稠吉 (一七二、二九)

維新前伊勢まみりの景況 (四〇二、七)

維新前僧尼 | の事 | 荒木田晃重 (三一、五)

伊勢神宮 | 宇治山田 | 神路山 | 行幸及行啓 | 見ヨ

伊勢太神宮歳旦大御饗 | 田南金太郎 (二二、二)

伊勢内宮風宮橋 | 荒木田晃重 (三七四、二七)

尾張國 | 御領考 | 石巻良丈 (四二七、四四)

皇太神宮歳旦大御饗次第 | 同 | (八三、二)

神宮献納宛拵付 | 画報生 (三五九、六)

神宮に對する敬礼 | 小川稠吉 (一四〇、七)

神都の沿革 | 小川稠吉 (一六八、三一)

明治元年正月元日伊勢兩宮内の人民大廟考 | 拜圖解

同 | 荒木田晃重 (三〇七、二)

造宮及伊遷宮

| の御造宮 (三九八、三)

| の上棟式及宇治橋の渡始 (三九六、四)

伊勢兩宮の御造宮 (三九五、四)

伊勢兩宮の御遷宮 | 小川稠吉 (三九五、六)

皇太神宮 | 木安の模様及道歌 | 園風生 (一八八、三)

御遷宮紀事 | (四〇三、三)

御遷宮の調度と一本樺の萱 | (三九七、四)

神宮御白石史 (四〇一ノ五)

兩大神宮或年御遷宮諸祭典 (三九九ノ四)

臨時御遷宮御式の御模様(四〇二) 田南金太郎 (三九)

伊勢神宮禰宜

明治以前神宮禰宜の葬儀 荒本田見重 (三九九ノ四)

伊勢貞丈

— 翁の祭典 橋本繁 (二一〇ノ七)

伊勢國

— 三重縣を以て見よ 荒本田見重 (二七三ノ三四)

磯崎

常陸—の岬 大内逸郎 (三二五ノ三八)

磯釣 (羽後國庄内海邑)

— (四八) 佐藤古玩 (一二二ノ四)

磯節

潮来節と— 堀田良濟 (三六二ノ二六)

磯部鑛泉

— 雲霞庵花山 (二六二ノ三九)

伊雜宮御田植式

伊雜宮御田植の御式 田南金太郎 (二三七ノ六)

板倉神社

上野國— 雲霞庵花山 (二七九ノ四〇)

潮来節

— 加藤尾花 (四四一ノ一四)

磯節 堀内良清 (三六ノ二六)

潮來町

常陸國 雲霞庵花山 (三三ノ四〇)

板橋町

(大日本名所図会第七十八號、東京近郊名所図会第三北郊、部其三ノ内)

市谷八幡宮

。祭礼ハ坂巻耕漁画入 寫陵迂人 (九九ノ八)

市来温泉

薩摩 盛雜舎 (二八ノ三五)

一絃琴

一名頸磨琴(四ノ六) 坪川辰雄 (六六ノ二七、六九ノ二九)

七〇ノ二三

彈奏 坪川辰雄 (一〇八ノ二四)

巫女 已神使をも見よ

一函 じきよ (二四六ノ三五、江戸市中世渡) 種ノ内

一函 年忠画 (二四ノ裏絵)

一函 初代豊國画 (五〇ノ二六、寛政年間諸侯令嬢

社考之図ノ内)

一、口寄を聞く図 初代豊國画 (九七ノ四)

一の宮

越中の 瓦山人 (三四六ノ三一)

全國 千種堂常峨 畿内 (三三四ノ三二)

東海道 (三二六ノ三一) 東山道 (三三〇ノ三一) 北陸道 (三三四ノ三四)

山陰道(三三六、三四) 山陽道(三三八、三〇) 南海道(三四三、九)

西海道(三四九、二八)

一宮祭

備後國尾ノ道の — 松本鑿吉 (五〇、一二)

一里塚

— (四七六、二七)

— 考 山下重氏 (九三、一八、九五、一九)

一輪車

— (五那)「寺崎廣業画入」 (三九、一八)

一休寺 (山城國綴喜郡田辺村大字新)

薪 — 伊達虎峰 (三三〇、三五)

嚴島

— 及看菊岡 天和永年画 (四六、二二)

— の神鹿 鹿を見よ

嚴島管絃祭

— 画報生 (三四九、三)

嚴島管絃船

— 「西入」 (三九九、六)

伊豆七島

— 国会 (二五四)

佚存業書

— の冊號 山下重氏 (三一六、四一)

一中節

新曲浦島(幸堂得知作) 画報生 (三五二、一六)

一町佛

白河関跡及——碑

和田新吉 (三五九ノ三四)

伊豆國

伊豆の沿革及び名所旧蹟

西尾東翠 (三五九ノ三二)

伊豆の風俗

好古生 (一四四ノ八)

出雲國

出雲

細木昌房 (二七〇ノ三〇)

出雲の風俗

敷島道成 (四二一ノ一七)

出町 (越中國東礪波郡)

富山縣——の大火災 (明治三十三年八月十九日) 丸山人

(二一六ノ三三)

井戸

茨城縣の名井

堀田良濟 (三六八ノ三一、三六九ノ三六)

伊東温泉 (伊豆國)

——「用入」

坪川辰雄 (二一四ノ二五)

伊豆温泉暖香園

早橋主人 (三一八ノ三三)

伊藤博文

國華實記「写真入」

(四〇三ノ四)

故伊藤公の墓「写真」

(四一五ノ三六)

井戸端會議

——「黒崎修齋画入」

花渡生 (二一六ノ二)

井戸堀

——「用入」

香青堂逸人 (八八ノ九、今様職人畫圖解、

内)

— 圖 尾形月耕画 山下重氏解 (二三二、一六、新撰)

百工圖其七十八)

蝗送 山見送りを見よ

土佐國田植及—「因入」 (二九、九)

稲葉祭

岐阜— 三浦其月 (二三〇、一〇)

稲葉山

岐阜市— 頂上の古址井戸 ワイケイ生 (三一八、三七)

蝗害禊い

薩摩國— 齋難舎 (二三八、九)

稲荷

江戸の— 社 山下重氏 (二〇八、二八)

羽後飽海郡平田村— 神社の祭礼「因入」 佐藤古玩

(二四二、五)

稲荷

—「因入」 渡部乙羽 (五三、一〇、江戸市中世渡り種

其五ノ内)

—「因入」 花渡生 (一三八、三四、江戸市中世渡り種ノ内)

稲荷祭

— 田口年信画及解 (二二七、七、浪花風俗百圖ノ内)

—の圖 尾形月耕画 (一〇八、表紙)

四日市みやまご— 春の倉主人 (四四五、四二)

犬

—の話 大田多稼 (一五六、三四、一五八、二一)

イナリイヌ

三十一

好侶伴と保護者たる愛犬 暹羅公使談 (四四九、三四)

干支に因む犬(戌)盡し 三浦おいろ (四〇四、三七)

犬追物

——「因入」 成田雅舟 (一三七、一四、一三八、六)

いの神持 正神使を以見よ

—— 高村魁 (六、二〇)

犬殺し

—— 太田杏村 (二五八、一四、不埒な世渡り、内)

犬芝居

洋犬芝居圖 (五八、裏絵)

犬山(尾張國)

犬の勝地 三浦おいろ (四〇六、三七)

尾張の—— 敷島道成 (三四二、二二)

稲

——花は日本第一の花 野口勝一 (五八、一)

稲打

臺灣——の因ハ就て「写真入」 臺灣耕夫 (三五九、一四)

稲ふき

明曆の——因解 (五一、一五)

稲作

耕耘圖説「因入」 山下重民 (二五二、一六、二五五、一〇、二六〇、一五、二八一、二八)

稲留希賢 正由美希賢を以見よ

井上馨

井上老侯〔写真入〕 (四七四、三八)

井上侯銅像

— 除幕式 (四一六、一七)

伊能穎則

— 翁の傳 (一六九、三九)

伊能忠敬

— の傳 堀田良濟 (三五〇、三九)

井の頭池

— 〔写真〕 (三三七、十全井名所図会、三七)

井の頭公園

— 〔写真〕 (四六〇、首)

玄猪

— 山下重氏 (二九一、六)

— 〔古図入〕 山下重民 (三一九、五)

旧幕時代の — 方寸舎 (四七四、二五)

十月 — の図 (一〇、四、幕府年中行事ノ附圖)

筑後柳川の四十月亥の日〔図入〕 佐藤要吉 (二七六、四)

南豫の奇習 (三九二、二六)

猪子石

— 敷島道成 (四一七、二九)

亥祭

備後國三原の — 〔図入〕 佐藤菊三 (一五二、一七)

備後三原の — すみれ (三二六、一八)

四日市の—— 一風庵生 (三三〇ノ五)

猪

東京上野公園動物園内飼用の土佐産——写真

(四一六ノ二〇)

岩

——松くらげ 伊達虎峰 (二八三、四四)

岩井町 (常陸國猿島郡)

将門別當の—— 西野東郊 (四五〇、二九)

岩木山

奇異なる登山考詣(奥州津輕——の考詣(一四八) 外崎

覺 (二一四、二六)

岩國 子錦帯橋を以見よ

岩田帯 伊産を見よ

祝事

慶事集 (二〇〇)

岩船神社

——(或内) あしのまゝや (四七三)ニ、常北の各社と古

刹と、内)

窟

鼠石——(豊後國速見郡石垣村) 鶴松鼠之助 (四二八、

三一、新年に因む地名、内)

岩屋 (能登國)

—— 五峰庵 (二七三、三五)

窟屋金水 (兵庫縣美濃郡吉川村)

—の奇池 (三三六、三七)

岩屋山 (越前國)

— 水島景鷗 (三一三、三八)

岩屋町

淡路國—の奇風俗 寸取閑人 (一九四、八)

茨木神社

攝津國—の祭事 三輪青谷 (二四一、八)

飯篠長盛齋

神刀流—の墓、名家譜 (一六九、三六)

飯籾

—の事 錦山美叟 (六六、六)

飯盛山 (合津)

伊吹山

—麓の奇風 (三九一、二一)

衣服

—裝飾の色彩と人の性情 (二八三、三三)

衣類の取扱方 (三九二、一五)

ハバリヤ王妃の御召服 画報生 (三二八、一七)

風俗と日本服 大塚保治 (四六九、二)

和服の審美的價值 大塚保治 (四七〇、二)

—流行 巴戟天 (三八九、七)

衣裳の模様 桔梗く助 (二〇一、四〇)

最新の流行 — (二五ノ一三)

最新流行の夏衣裳 花渡生 (一八八ノ二八)

新年流行の衣裳「因入」 花渡生 (一八〇ノ三一)

新年流行の衣裳 桔梗之助 (二〇二ノ三三)

新流行の夏衣裳「因入」 花渡生 (一七〇ノ二七)

夏の流行益々華麗 白木屋呉服店 (四四六ノ一一)

夏物流行婦人衣裳着附「因入」 (一六六ノ二八)

花見小袖 (四四四ノ六)

春着 きちめり (二六一ノ一七)

太物流行の柄合 (四〇ノ二〇)

棒壱結の全盛期 じにかし (四五〇ノ九)

本年流行の春着(大正二年) (四四一ノ三三)

三井呉服店、新意匠「因入」 花渡生 (一七四ノ三〇)

流行 — (二〇ノ一〇)

流行の衣裳 花渡生 (一八五ノ二四)

衣服改良

女服の改良 加藤時次郎 (三八三ノ四)

疣水神社

大阪の — 三輪青谷 (一三七ノ一八)

今石動

越中 — 近傍の古蹟 瓦山人 (三一八ノ三三)

今川橋

— 関通式 (四三一ノ一〇)

今川義元

子「楠狭間」を見よ

イワイマ

三十八

—の古墳(駿河國) 鈴木香雪 (三八三、二八)

今戸焼

— 花源生 (一三〇、一九)

忌宮神社 (長門國豊浦郡長存村) 又、又數方庭を見よ

御齋の神事 藤井城峰生 (二八一、一五)

伊豫國

城

伊豫古城址考 永井李蹊堂 (三五二、二九、三五九、三〇、三六

四、三二、三七二、三九)

伊良湖岬

— 千種堂常城 (二三五、二六)

入新井村

— (大日本名所図会第八十六編、東京近郊名所図

会第十一、南部の部其五、内)

炒豆賣

— 「圖入」 賀陽生 (三一六、七、甲、又、世法種、内)

入谷 朝顔を見よ

海豚

— の捕獲「圖入」 泉南漁史 (二七六、二四)

入墨

— 之圖 (四八、一八、徳川時代御仕置圖其一)

色子

赤間関の— 「圖入」 福島星湖 (一七四、一三、風俗奇談

ノ内)

いろは茶屋

— 秋の屋主人 (三九二、江戸風俗句解ノ内)

鰯

鹿島浦の — 堀田良濟 (三七二)

醫王山

— (二三〇、三四、加賀の名山ノ内)

醫王寺

— の秋色 九谷まの字 (三二六、三五)

隠居

— 「田入」 花渡生 (一三三、三二、江戸市中世渡り種

ノ内)

— 江僧「田入」 渡部乙羽 (五三、一〇、江戸市中世

渡り種其五ノ内)

隠語

— 「符牒」をい見よ 宮崎幸磨 (四三、九)

印刷

— 活字版と出版法をい見よ

印刷所 活版師団 (一三八、裏誌)

謡記

— 芝山道人 (七〇、二九)

飲食

— 酒肴をい見よ

飲食會 伊豆をい見よ 文化年間の大酒大食会 (四〇〇、一一)

飲食店

— 伊豆の雪の村料理店をい見よ

明治前江戸府内——の沿革 方寸舎 (一五〇ノ二一)

一五二ノ二四、一五四ノ二四)

飲食物 食物をも見よ

——の饗造 天籟生 (四五八ノ三七)

新年の—— 林天然 (四七六ノ二九)

印地打

—— 山下重民 (三八四ノ一三)

印度

——風俗 (三九四ノ二八)

——風俗「写真」 (三八一ノ四)

淫賣婦 「遊女」「白首」「遊行婦」「夜鷹」をも見よ

浅草の女 阿井飛洋 (四六八ノ一二)

印旛沼

——紀行 野口勝一 (六〇ノ二三)

下總國——古埴筋市普請市手傳の記「四八」 成澤慶

昌 (二一〇ノ一九、二一四ノ一五、二一六ノ一八、二一八ノ一六、二一九ノ

一七)

坑飯

——の事 塙忠韶 (五一、二四、五二ノ一一)

陰陽石

出雲國八束郡惠曇村—— 小川寅一郎 (三四六ノ三六)

卯

京都の—— 巳足袋 (四六五、三二)

俳諧—— 巨兔誌 加藤尾花 (四六五、八三)

鶉

捕—— 阿北仙史 (五八、九)

植木市

大阪阿弥陀池の—— 永井孝蹊堂 (三二四、四)

植木賣

—— 渡部乙羽 (五三、一〇、江戸市中世渡り種其

五ノ内)

—— 〔四八〕 醉霞居士 (九九、一九、今様職人草圖解、四)

植木屋

—— 尾形月耕画 山下重氏解 (一三七、一〇、新撰

百工圖其五十三)

魚

薩摩鱗介の殊称 鹽難舎主人 (三一八、二〇)

風変わりなる鮮魚運搬法 杉浦保吉 (四二五、一六)

魚市

三河豊橋町の—— 多稼の屋 (一二五、一九)

魚市場

—— 初賣の燈 〔四八〕 千種園 (二八〇、二五)

勇ましき魚河岸の初賣 (四二七、一三)

魚河岸義侠勢揃「歌川国房画入」 蓬軒居士「六〇、二四、

成辰奇聞「内」

日本橋「一」 蓬軒居士「一六〇、一二」

日本橋「一」 の治華「四入」 「一四、七」

日本橋魚河岸之圖 山本松谷画 「二〇九、首」

魚市場の御納屋

旧幕時代市場の御納屋「四入」 画報生 「三一六、八」

日本橋魚河岸の御納屋「四入」 蓬軒居士 「一五八、五」

魚賣 魚賣と見よ

魚皮靴

十島の「一」 春二生 「二四五、二〇」

鵜飼

一園 「五九、裏絵」

長良川「一」 の記「四入」 釣瓶の舎主人 「二九、六、三二」

一六、三三、一四

長良川鵜舟の記 野口勝一 「二〇、二五」

浮島ヶ原

一 西尾東翠 「三四六、三六」

浮御堂

一 瀬津晴湖 「二七〇、三〇」

浮世繪 「遊女」と見よ

菊川英山画、若衆 「四七六、首」

香蝶樓國貞画、湯上り 「四六〇、首」

喜多川歌麿画、名所腰掛八景 「四七二、首」

喜多川馬磨画、夢 (四七三、首)

喜多川月磨画、扇屋内艶装花窓 (四六三、首)

五雲亭貞秀画、東海道中大井川之図 (四六四、首)

鈴本春信画、美人 (四七五、首)

鳥居清満画、曾我(市川高麗藏、河津之三郎) (四六五、首)

西川祐信画、浅香山 (四七四、首)

菱川師宣画、盲女のむね (四七七、首)

菱川師房画、美人 (四七八、首)

鷺

—「因入」 時雨庵梨山人 (二二一、三、一三、一九、一四、二二、

二六、一〇、一七、二一、一八、一〇、一九、二四、二〇、二三、二一、二七、二二)

一八、二三、一六、二四、一九、二六、一三、二七、一五、三〇、二一、三三)

一八、三七、二三、三九、二一、四八、二二、五一、二四、五六、二三、五七)

二一、五八、二三、六九、二七、七三、二四、七四、二八、七六、二九、八五)

一八、八八、一五、九一、二二)

— 聲を聞く 野口勝一 (四九一)

— の話 太田杏村 (二〇六、二〇)

鷺啼合會

根岸里— 図 丸山瑞雨画 (一九一、一四)

有卦無卦

— の事 (二六、三)

有卦と無卦 矢崎碎巖 (四六七、三七)

羽後國

羽前羽後の所見風俗 阪巻耕漁 (四二五、一三)

右近橋

右近橋 左近橋 — を見よ

兔

子卯 を見よ

— (四ノ一五)

— にちなむもの 文の屋 (四六六ノ四八)

— の話 久永章武 (二七九ノ二五、三一〇ノ一五、三一四ノ三、三二六ノ二七)

— (三二六ノ二七)

徳川氏時代 — を鳥類に擬せし原因 深津顯

(四二四ノ二八)

兔狩

— 圖 (二一六ノ裏絵)

熊李の — しらが (四五八ノ一六)

宇佐

豊前南 — 地方の年中行事 中野夏村 (四二六ノ六)

四一九ノ二〇、四二三ノ一四

宇佐郡 日唯氏 を見よ

豊前 — 名所 吉田富江 (三六九ノ三八)

牛

— とソノ文字の附もの — に縁故あるもの

文の屋 (四四一ノ四九) 追加 (四四二ノ五一)

— に因む名所 紅の家おろり (三二五ノ三〇)

— に就ての話 (四四一ノ四六)

和歌山縣農家飼 — 交換の風俗 鹿亭生 (一六五ノ

二二)

牛車

静園の——及人車 香雲 (三一八ノ二〇)

牛込

駒込、—— 松本重彦 (四七四ノ四、東京地名考ノ内)

牛込區

新撰東京名所図会第四十一編 至 第四十三編、——之部
(二八二、三四二、三四五)

牛蒘礼

安藝國高田郡長田村の—— 佐藤菊三 (三七六ノ五)

牛島神社

——の大祭 画報生 (三五〇ノ八)

牛角力

—— 加山香雨 (二五五ノ九)

牛天神 己亥之神をい見よ

牛の鴈賣

——「因入」 賀陽生 (三一六ノ七、甲斐世渡種ノ内)

うしほ染

—— 初荷の光景「因入」 桔梗 (二八三ノ一九)

牛祭

太秦唐降寺——の記「因入」 井上鶴松 (二八ノ九)

太秦の——「因入」 宮島春聲 (五八ノ五)

太秦の——「因入」 佩香園 (四三九ノ六)

京都太秦——の祭文 濱田如洗 (三七六ノ三)

京都太秦村——「因入」 濱田如洗 (三五二ノ三)

白職

ウセーウタ

— 図 尾形月耕画 對原堂主人解 (四二、八、新撰
百工図其三)

羽前國

羽前羽後の所見風俗 阪養耕漁 (四二五、一三)

羽前の古戦場 河名支助 (二六五、三二)

譽替

— の守「因入」 (七一、一四)

亀井戸天満宮 — の神事「山本松谷画入」 山下堂

民 (一三二、四)

亀井戸天満宮 — の神事 (二二四、五八、民間行事)

新年の祝、内)

歌 「和歌を見よ

歌川貞秀

画師 — の話 依田百川 (二、一七)

歌 かるた

— きちかろ (二、四、七)

— (二二四、七四、民間行事新年の祝、内)

トラムフ圍碁及 — 「富岡永洗画入」 (三八、一五、三九、

六) 画 (三八、首)

歌 比丘尼

— 乙羽庵主人 (五二、一三)

謡 初

幕府御 — の式「因入」 渡部生 (六四、七)

宇 治

ウタノムチ

四十五

都の巽 宮島春齋 (一四〇)三六)

宇治川 近衛将とも見よ

内津神社

尾張國一の事蹟 石巻良丈 (四三二)三四)

宇治橋

一の網受 荒本田晃重 (三七二)七)

一の渡始 (三九六)五)

宇治橋断碑 (山城國久世郡宇治町放生院)

すみれ (三二六)三六)

宇治山田 伊勢神宮とも見よ

五十鈴の落葉 荒本田晃重 (二二五)三、二二七、二、二二九、

二、二三〇、三、二三二、一七、二三三、七、二三五、四、二三八、七、二四〇)

四、二四二、九、二四三、二)

伊勢一の町の志事 荒本田晃重 (二三〇)三九)

神都奇談 洞亀園主人 (二七八)三八)

神都雑話 小川稠吉 (一三七)六、一三八、二、一五〇、九、

一七〇、三一)

神都各所かぞへ歌 園風生 (二〇二)三一)

團扇

山下重氏 (四四)二一)

扇と 扇 (四七一)四五)

絵 一「阿久」 蓬軒 (二二二)二〇)

深草 一 宮島春齋 (七〇)一六、京名物、内)

水閣 一 由未書 向井又八郎 (三三二)三三)

團扇賣

—「因入」 醉霞居士 (一〇二、八、今様職人盡图解ノ内)

團扇職

—「因入」 花淡生 (一三八、三五、江戸市中世渡り種ノ内)

—「因」 尾形月耕画 蓮池畔人解 (一一四、四、新撰百工圖共四十四)

卯杖

—「因」 粥杖 山下重氏 (三九二、五)

空木

—の説 林天然 (四三二、三八)

うつし繪

—「因入」 (七四、三九、江戸市中世渡り種ノ内)

宇都宮

—札記 三田村玄龍 (三七二、三六)

宇津山

—「萬、細道」 岩岨處士 (二六四、三五)

太秦

— (大日本名所圖会第七十二編京都名所圖会卷六、洛西の上ノ内)

鷄狩

—上使の一節に就きて 中村不能齋 (九、六)

駒場 —之圖 (八、四、幕府年中行事、附圖)

ウテ祭

薩摩の—— 醜雑舎主人 (三一〇ノ二)

獨活

摂津國三島郡の—— 三輪青谷 (一三〇ノ二)

温飩

—— 吐月居士 (五二ノ二)

温飩賣

三ツツで出し—— 三ツツ夜泣く人をも見よ

玉——

春逆舎草 (三三八ノ九、四日市、物賣ノ内)

優曇花

——、説「因入」 林天然 (三六二ノ二)

鰻

薩摩川内の登り子 醜雑舎主人 (二六二ノ二)

土用と—— 鰻 山下重氏 (四〇〇ノ二)

鰻蒲焼

蒲焼 山下重氏 (三一六ノ一)

蒲焼「因入」 渡部乙羽 (四六ノ一、江戸市中せ渡り種

其二ノ内)

鰻蒲焼賣

—— 伊達虎峰 (三一八ノ六、四日市の物賣ノ内)

鰻屋

「テ」出前持をも見よ

鰻鰻店 方寸舎 (一六五ノ一七)

卯花

—— 尾形月耕画 (二四ノ表紙)

卯の花祭

ウチノウチ

因入

春宵主人 (三四一ノ八)

乳母

— を撰出法 久永達倫 (九一ノ一七)

大阪の— 永井李蹊堂 (三五二ノ七)

姨捨山

— の記 飯島嬉笑 (三二ノ八、三三ノ三)

— の附言 石川鴻齋 (三四ノ一七)

産著の祝

— 山下重氏 (二〇〇ノ八)

上杉謹信

史劇に現れたる輝虎 坪井羽南 (四五三ノ五六)

上杉治憲

上杉鷹山侯の奏唱論 壺天居 (四四七ノ三九)

上田獅子 上田獅子尊を見よ

上田城

信府統記諸城記 小林義暁編 (三一四ノ三四、三二〇ノ三七、

三四三ノ二八)

上田町 (信濃國)

— 年中行事 飯島嬉笑 (二二五ノ一〇、二二七ノ三、二三〇ノ

四)

上野黒門

維新前—前の圖 山田敬中画 (七二ノ首)

上野公園 「寛永寺」時の鐘をよ見よ

— 「吉崎北陵画入」 山下重氏 (四四四ノ一、東京の今

昔第(三)

新撰東京名所図会第一、二編——之部 (一、二、三、一三)

昔の上野 方寸舎 (四、五、七、七、五)

上野戦争 己彰義隊を見よ

上野東照宮

——三百年祭「写真」 (四、七、二、四)

馬 己乗馬「野馬」をも見よ

——の語「馬」 久永章武 (三、三、二、二)

駒の競賣市「福島昆湖画」 花渡生 (二、〇、一、九)

御料——の産地 画報生 (三、三、四、二、一)

薩摩—— 盛雜舎主人 (二、七、三、二、四)

獨逸皇帝「贈進」の駿馬 画報生 (三、三、二、二、〇)

野馬焼印の図並考「兩」 久永章武 (三、三、六、二、九、三、三、八)

二七、三四三、一九、三四六、二二

馬市

越後椎谷の—— 狂花 (二、三、七、一、一)

馬献上 己八朔市——を見よ

馬小館

御退夜の—— 阿名文助 (二、七、九、一、五)

馬小屋

陸中盛岡市の—— 坂巻耕漁画及解 (三、三、二、一、三)

鶺鴒祭 己氣多神社を見よ

馬の節句

讃岐奇習—— 王郎 (三、八、七、一、五)

馬祭

新河岸の——「写真入」 (四七八、三八)

馬見か崎川

——、上流 向宇宙軒 (三四七、二二)

既橋

御既の渡と——「寺崎宝山画入」 わ、ま (六二、二二)

海亀

——の卵 鹽難舎主人 (二六二、二五)

梅

子備聖園と杉田の月ヶ瀬をも見よ

——左右競 とも名足袋溪 (四〇五、三八)

——と櫻の花期 蓬軒 (二八三、二五)

——に關する雜記 久米章武 (三七九、二四)

——見り園 速藤耕溪画 (一三四ノ表紙)

美人野梅を探くる「山本松谷画入」 (一六〇、三)

むらしの——見「鳥居清満画入」 水ま (三九、四)

各地名所

——花、名所 伊達虎峰 (三一〇ノ二三、三二ノ三三)

——名所 千種堂啼娥 (二四五、二九、三四七、一六)

小田原小峯の梅林 野口勝一 (一八五、二八)

大隅始良郡帖佐、老—— 鹽難舎主人 (三〇七、四一)

全澤の—— 池田ツゲろち (二四七、一八)

蒲田の——見「山本松谷画入」 山下皇氏 (一三四、二〇)

蒲田邑看——園 (六丁江戸歳事記ノ内)

木下川——園「写真」 (四一八、一六)

紀路の——紅の家おいろ (三〇〇、三一)

臥龍——「写真」 (四三〇、三六)

親——「庵戸梅屋敷」 山下重氏 (八八、三)

薩摩國藤川の老——をばた (三九、二七)

佐布里の——寄月居晴娥 (三九、二七)

篠ヶ谷——林 中野英二 (三〇〇、三一)

下總國長作村長胤寺の二房——蕉雨生 (二〇二、二八)

探——の梨(寺野村、大森ハ景園、常磐公園、信楽園)「写真」

朧月 (四七、七〇、一七) 写真 (同、首)

又鬼谷の——紅の家おいろ (三〇〇、三〇)

野並の——林 寄月居晴娥 (三九、二七)

日向國高國の月知——鹽難舎主人 (三六五、三四)

備後國西野の——林 池田ツル子 (三二七、二七)

水戸の——花 珂北仙史 (八五、二五)

名所の——坪川溪樂 (二〇四、二八)

梅園村 (埼玉縣入間郡越生在)

新月ヶ瀬「写真」 画報生 (二二九、二一)

梅田神社

青山の——画報生 (二八三、三九)

梅實

梅子調理法 河名雅齋 (二七三、一九)

梅干

——の大効能 山下重氏 (九七、二四)

相模國小田原の——牧の屋 (二一、二二)

ウメ

ウメ

梅屋敷

呂梅を山見よ

大坂——「内」 黒崎修齋 (一六〇、九)

亀戸——「内」 (一三、二)

向島——「内」 山本松谷画 (一五七、二)

梅若詣

墨田河——「内」 廣重画 (二八首、東都名所年中行事

、内)

浦江

大坂——の菜の花「内」 田口年信 (二六五、九)

裏店

寛政年間日本橋辺裏付店「内」 初代豊国画 (四二)

一三)

賣ト者

——「内」 高橋柯亭 (二二、二四、大道所見、内)

——「内」 年忠画 (一四、裏給)

——の秘傳 星橋主人 (二七六、七)

易者「内」 (七、二七、江戸市中世渡り種、内)

ウラベニスモ、 日嘉慶李と見よ

盃蘭盆

——会と聖霊祭との考 伏藤玄瑞 (三二、五)

——考 山下重民 (七、八、八、五、一〇、一三、一一、一〇、一八、

二、一九、二、二一、四)

七、夕々—— 内田芳雄 (九五、五)

中元張燈 山下重民 (四九、二〇)

ウラ

四十二

盃中往來の圖

(六五) 四八、江戸歳事記ノ内)

各地風俗

— 會の記「四六」

(三〇) 七、三一、三)

伊賀上野の— 會

すみれ

(三二〇) 四)

羽前國森の山盃會式「四六」

佐藤古玩

(一四四) 三)

京都の—

山早川盃磨

(三三七) 一〇)

京都の盃

三浦常城

(五七) 六)

相模鎌倉の—「四六」

尚古道人

(一四四) 四)

静岡市の盃祭

香雲

(三二〇) 二)

信濃國南安曇郡地方盃會式

小山珍事堂羊狂

(一六八) 七)

駿河川根の盃祭

香雲

(三二〇) 四)

駿河國江尻町の七夕祭と— 會

香雲生

(一四四) 一)

(一七)

駿河藤枝町地方の盃祭

香雲

(二七三) 六)

昔時各地の中元

(四一〇) 七)

遠江新居町の盃祭

香雲

(三二〇) 三)

遠江國濱松町の盃祭

實見生

(一九四) 二)

濱松の盃會

河合信太郎

(二五五) 七)

陸奥國七時雨山麓地方の—

三樂道人

(一六八) 七)

四日市地方の—

對月庵虎峰

(二七三) 七)

浦祭

九十九里湊民の—「福島星湖画入」

君塚東自筆

(二二〇) 二)

ウラ

五十四

雨龍祭 (おがみまつり)

陸奥國八戸 — 福田興惣吉 (四二、一四)

賣初

加賀國金澤 — の景況 蒼江 (二六、八)

金澤の初賣 五峰庵 (二二五、九)

高賣始 (二三四、二七、民間行事新年の祝、内)

瓜生岩子

故 — 銅像除幕式 花淚生 (二三二、七)

瓜生會

四恩 — 秋季大會 花淚生 (二四二、七)

四恩 — 第六回秋季大會 桔梗 (二七九、一〇)

四恩 — 春季大會 桔梗 (三四一、一四)

賣物廣告屋

— 宮島春齋 (一五二、一九、京都賣物屋風俗、内)

漆かき

— 「用入」 うきよ (一五〇、二三、江戸市中世渡り種、内)

ウル、

— (食物) 桑六 (二〇、一三)

ウロく船

— 有水生 (二七三、五)

浮塵子

— の石碑(加賀國能美郡古河村字埴田地内) 雄齋

道人 (二四二、二七)

浮塵子送り 已共送りを見よ

美濃國山縣郡伊自良村地方の—— (三七三)

七)

浮塵子逐心

信濃國—— 小山珍事堂 (二五五、一三)

雲溪

—— 水野春亭 (四四三、三五、高僧遺偈ノ内)

温泉ヶ獄

長崎の——「写真入」 (四六一、一九)

運動會

——とお花見「永洗画入」 乙羽 (四〇、五)

華族女學校第拾四回春季——「画入」 小林洗美

(二五二、一〇)

慶應義塾大——「画入」 福同華洲 (七四、二二)

春季慶應義塾大——「画入」 福同袖浦 (九七、二一)

女子高等師範學校附属高等女學校第九回秋季——

「画入」 桔梗 (二七九、一二)

女兒生徒—— 山本昇雲画 (四四四、首)

工

永光寺

能登の—— 五峰庵 (二六五、三二)

永源寺

近江——の紅葉 伊達虎峰 (三二六、三六)

英語

流行の—— 関天外 (三八七、四)

英國

世界の戦乱と——の流行 松居駿河町人 (四六五)

二二)

英國艦隊歓迎

—— 同會 (三三七)

—— 補遺 画報生 (三三〇、一一)

英國皇帝戴冠式

同盟國皇帝陛下戴冠式に對する祝賀「画入」 (四二五、三)

衛生

—— 魚題録 一記者 (四五〇、二三)

家庭—— 談 二本謙三 (四一〇、一五)

不老長生の秘訣 泡成 (四五三、三一)

衛生警察

飲食物警察の必要 中村天龍 (三八八、七)

英照皇太后

—— 御靈代奉遷式御行列拝觀記「画入」 山下重氏

(一六〇、三)

御大葬同會 (一三五、一三六)

永禪院

赤神山—— 跡 旭水樓主人 (一六〇、三〇)

永代橋

東京——の開橋式「画入」 画報子 (一五四、八)

榮達

—— 山下重民 (二〇〇ノ五七)

謡曲 〓謡初〓能楽を小見よ

—— 安石 堀田良濟 (三七九ノ二七)

—— 唐船の傳 (二九二ノ一八)

—— と名勝 千種堂常娥 (三九六ノ一一)

新作 —— 興津 如蓮居士 (三八六ノ一六)

新作 —— 鶴岡(大概如電作) (三五四ノ三三)

富山浮瑠璃と加賀 —— (三九一ノ二七)

花と名勝の —— 紅の家おいろ (三六二ノ四一)

幼稚園

—— の图解〔坂巻耕漁画入〕 (七三ノ六)

夏の —— 〔写真入〕 東洋幼稚園長談 (四三七ノ二二)

回向院

—— 施餓鬼之図 山本松谷画 (一五九ノ一六)

江川太郎左衛門

坦葺江川先生の詩 (四三七ノ四〇)

釋路

四幕時代道中記(江戸全澤間) 五峰庵 (二五六ノ四九)

日本釋路の沿革〔図入〕 高橋又太郎 (四、六、五、六、

六、八、七、六、八、八、一〇、一四、一八、首、一九、首、一九、六、

二九、二一、三二、八)

繪曆

南部の —— 〔図入〕 丸山茂 (六、一、二)

顔サシ

—「田入」 風片生 (一三ノ二、二ノ九)

會式 田雜司谷法明寺—田堀之内妙法寺—をい見よ

會式 櫻

谷中嶺去寺—の図 (六七、六六、江戸歳事記ノ内)

江島

—の事 (二二八、三八)

蝦夷 アアイヌを見よ

枝豆賣

—「田入」 志づか (一二五、三一、江戸市中世渡り種ノ内)

越後獅子 田南兵衛獅子をい見よ

—「田入」 甚の家 (九三ノ一、今様職人畫圖解ノ内)

—の起原 池田カザチ小 (一五六、一七)

越後屋

—樓上布帛陳列の図 尾形月耕画 (一〇四、首)

たか解 (一〇四、一七)

越前國

南越紀勝 香澤生 (二四七、二一、二五三、三一)

越中國

越中の三勝區 辰川芳翠 (二四二、二五)

越中の名産 瓦山人 (二〇八、二八)

越中の名蹟写真の説明 瓦山人 (二三五、二八)

越中名所 瓦山人 (二六五、三一、二六七、三六、二七六、三五、

二七八、二六、二八三、三七、三二四、三八)

江戸 江戸東京の橋をい見よ

—の佛 方寸舎 (四五三、六七)

—の日午函の説「因入」 花兄樓人 (三〇ノ一五)

—の昔 方寸舎主人 (四七一、一〇、四七二、一八)

江京雜記 あしのは (三七六、三四)

旧幕府—の歌 画報生 (二四九、二六、二五三、三九)

行事 田歲事記「近年中行事をも見よ」

享和三年—中神佛月並縁日 (四四二、一三、四四三、二六、
四四四、三三、四四九、一五)

東都各所年中行事 廣重画 (二七、四、二八、三、二九、二、
三二、九) 画(各、首)

高店 三二、九) 画(各、首)

—の金銀往來する横町 文の屋 (三九七、二六、

見聞記憶の儘ノ内)

—第一高價の地並に有若の諸店 文の屋 (三九七、

三七、見聞記憶の儘ノ内)

—の真中に萱葺屋根の家及び盛大なる飛脚屋

文の屋 (三九七、二七、見聞記憶の儘ノ内)

地図

—の古図「因入」 坪川溪磔 (八八、一八)

町名

—の町あざ 方寸舎主人 (四六〇、一五)

—の町あざ 文の屋 (四六五、四九)

續—の町あざ 貂尾堂 (四六二、三一)

—の町あざに就て 秋の屋 (四六二、三〇)

風俗

—のおもしろけり(蜀山)千紫萬紅、万紅千紫、蜀山百首より
拔萃) 望園逸人 (五六ノ二五、五七ノ二三、五八ノ二九、五九ノ二七)

—紫今古の梁介 方寸舎 (四四四ノ二二、四四五ノ八、四四六ノ一八、四四七ノ二〇、四四八ノ三一、四四九ノ六、四五〇ノ四、四五一ノ一一、四五二ノ七、四五三ノ一四、四五四ノ二〇、四五五ノ八)

—紫今古の梁介を讀みて 秋の屋 (四五六ノ二〇)
紫のゆかり) 山岡俊明 (一三ノ二四)

名物

—の名残 土の屋 (四六〇ノ三四、四六二ノ七)

雑

—ハ一ツ物(肴付) (四二二ノ三七)

文化年間日本橋辺より橋を渡りすして淺草観音へ参詣の行程 石倉重継 (一六八ノ二九)

江藤新平

故江藤氏の大法会 (四二〇ノ六)

江戸開府三百年祭

—の圖 年忠画 (九ノ首)

江戸川

—栽櫻の由来 画報生 (三六二ノ三四)

江戸記念博覧會

—写真 (四七六ノ四一)

江戸歳事記

—「因」 齋藤月峯著 (六一、六五、六七)

江戸城 エトリエ 正月元日「江戸城」を見よ

— (一七三、新撰東京名所図会東京總説並内廊部、内)

徳川氏柳營真圖 (六、一八)「四、七、五」

幕府本九二九之圖 (二四、附録)

エドワード七世(英國皇帝)

英國先帝大葬遙拝式 (四〇九、五)

江の島

—、鷓沼、蓮子、金澤名所図会 (一七一)

鎌倉—名所図会 (一四七)

江の島祭礼

—、記「右田年英画入」ニ橋生 (五二、二八)

惠方

えほうの説 山下重氏 (一八〇、四〇)

惠方棚

—の燈「圈入」 十種園 (一八〇、二二)

惠方詣

—圖 苔石画 (八三、首)解 (八三、三)

—圖 蓬齋画 (六三、首)乙羽解 (六三、二)

亀戸—の圖 寺崎廣業、武内桂舟画 (六四、首)

吉方詣 (三三四、二)民間行事新年の祝ノ内)

信濃松平の吉方詣 小山珍事堂 (三八、一四)

繪葉書

—の流行 画報生 (三二八、二六)

記念——の相場 画報生 (三四三、三九)

記念——目録 四溪閑人 (四〇七、二九)

繪葉書福袋

——桔梗 (三四六、一三)

夷講

—— (二二七)

——菱川師宣画 (四五〇、首)

——の図 尾形月耕画 (一二五、表紙)

京都の煙子講 左塵暗楼 (四三八、一三八)

京都の夷子祭 霞蝶園主人 (七九、五)

静岡市の—— 香雲 (三二六、一七)

静岡二丁街の—— 香雲 (三六〇、一三)

信濃上田、恵比寿講市 西山賢作 (一五四、五)

十月二十日煙子講の図 小林永濯画 (一〇、八、

維新前江戸歳事記、内)

高家愛比寿講の図 (六七、六一、江戸歳事記、内)

祝煙子講素人芝居 春齋主人 (一五〇、一)

戎神社 (摂津国武庫郡西ノ宮町)

——神馬の由来 春廬舎すみれ (三三四、五)

恵比寿、大黒 (玩具賣)

——きちか (二四三、九)

煙子祭

——呉服切賣「平澤象鏡画入」 わ、ま (四八、二五)

烏帽子山 (山形縣東置賜郡赤湯温泉の北方)

赤湯の—— 河名雅齋 (二七九、四一)

繪馬

浅草寺の—— 桂川中良 (四五七、七七)

繪馬賣

——「因六」 (七二、二七、江戸市中「世渡」種ノ内)

——「因」 (三九、九)

繪馬賣「因六」 花渡生 (一三四、三、江戸の春ノ内)

繪馬屋、額、輔 (田沼小右衛門)

四世——大人の訃 (一三五、三六)

衣紋

—— 江本定男 (四七〇、大、風俗閑話ノ内)

惠林寺 (甲斐國)

—— (二七二、三一)

縁起 三寺院、神社を見よ

縁起 (祝) 三松竹梅、鶴亀を見よ

園光大師

——七百年忌法要 (四三〇、八)

園藝

——論 北巖野史 (四一、五一、六一)

苑藝つれづれ「草」寫真」 六人生 (四五九、四)

空地の利用と建物の裝飾 菊池秋雄談 (四四六、七)

園藝共進會

——雜感 岡田生 (三八、三〇)

演藝

改革新流行の諸—— 白洋 (四一九、四四)

二月に於ける東都の—— 畧(大正四年)「写真入」 (四六七)

三月に於ける東都の—— 畧(大正四年)「写真入」 (四六八)

四月に於ける東都の—— 畧(大正四年)「写真入」 (四六九)

五月に於ける東都の—— 畧(大正四年)「写真入」 (四七〇)

演藝會

——の流行 寫亭金舛 (四四一、三五)

演劇 三演藝「歌舞伎座」劇場 日蓮人芝居「連類

劇 見世

——一斑 星橋主人 (一三八、三一)

——考「因入」 山下重成 (一七、七、一九、四)

大芝居序説 園部紫橋 (八五、二二)

女歌舞伎源流考「因入」 廣田星橋 (一五六、二九、一五八、二七、

一七〇、二五)

壯士—— 珂北仙史 (三三、一)

男女混清—— 珂北仙史 (二五、一)

市川家十八番の内しばりく「因入」 星橋主人 (一〇〇)

一九、一〇、二、三、一〇、四、二五)

歌舞伎古例新年仕初式「因入」 廣田星橋 (一五六、二七)

顔見世の事「因入」 渡部乙羽 (三四、四)

寛政年代諸侯の奥方歌舞伎狂言透見の図 西川祐信

画 花溪生解 (一三五、三〇)

劇場の初興行 (二二四、二六、民間行事新年の祝ノ内)

芝居の初見せ 荻川師宣画 (四五、一、首)

芝居顔見世の図 (六七、六六、江戸歳事記ノ内)

芝居の事觸 田口年信画及解 (三三八、一一、浪花風俗百圖ノ内)

十一月芝居顔見世之図 小林永濯画 (二、八、維新

前江戸歳事記ノ内)

葺屋町寿狂言娘之図 豊國画 (三七、八)

○ 観劇随話「四」 是橋主人 (一六〇、三六、一六八、三九、二七四、

三六、一八二、二五、一八七、三三)

歌舞伎芝居二月初午祭、附天神祭「四六」 廣田是橋

(一五八、三八)

歌舞伎芝居三月「富田秋香画右下りの奥女中観劇の図

入」 廣田是橋 (一六〇、二八)

歌舞伎芝居四月「田入」 廣田金松 (一六五、二〇)

歌舞伎芝居五月曾我拳「田入」 廣田金松 (一六五、二〇)

歌舞伎芝居六月「河五崎座船振舞の図入」 廣田金松

(一六六、二五)

歌舞伎芝居七月「黒崎修齋画役者湯治遊びの図入」

廣田是橋 (一六八、二七)

歌舞伎芝居八月、九月「黒崎修齋画仕切場月見の図、狂言

世界定の圖 廣田金松 (一七二ノ二八)

歌舞伎芝居十月、十一月、十二月「三階寄初式、顔見世盛況、

十二月納め」圖入 廣田星橋 (一七八ノ三四)

春狂言 團部紫晴 (八三ノ二八)

春狂言「圖入」 水、ま (三七ノ七)

明治座顔見世「圖入」 星橋主人 (二〇一ノ三六)

明治座春狂言「山本松谷画入」 星橋主人 (二一九ノ二五)

明治座狂言草摺引「圖入」 星橋主人 (二二五ノ二一)

明治座狂言和田合戦「圖入」 星橋主人 (二二九ノ一七)

明治座新狂言衣裳大小道具等(二十四年十月)「圖入」

廣田星橋 (二四〇ノ一七) 廣田星橋 (二六〇ノ二五)

明治座の十月狂言(三十五年)

〇

京の顔見世芝居 宮島春齋 (二三〇ノ八)

京都の劇界 隈魔法師 (三七テ一五)

浪花道頓堀の五芝居「名和永年画入」 (二五〇ノ八、一五テ一七)

臺灣の——「圖入」 村上玉橋 (一三テ一〇)

播州の俳優村 (三八九ノ二〇)

英國人の素人——を観るの記「圖入」 山下重氏

(一九〇ノ二一)

演説

——圖 (七四ノ裏絵)

——圖 (一五四ノ裏絵)

鉛毒

— 西報生 (三四一ノ三三)

縁日 〓露店をも見よ

享和三年江戸中神佛月並縁日 (四四二ノ一三、四四三ノ三二、

四四四ノ三三、四四九ノ一五)

銀座地藏前—の図 山本松谷画 (二五九ノ一八)

縁日商人

—の挨拶〔四ノ〕 さちかゝ (二六八ノ一三)

鉛筆

— 北巖野史 (二一ノ二四)

— 今井貞吉 (三〇ノ一九、鳳山漫遊記ノ内)

闇魔詣

— (二二四ノ五一、民間行事新年の祝ノ内)

— 俗雲水 (四七一ノ三五)

—の図解 山本松谷画 山下生解 (八五ノ七)

十六日—の風俗に就て 山下重氏 (一五六ノ一)

藪入の闇魔〔写真〕 (四六六ノ首)

オ

おひね女

—〔四ノ〕 霞蝶園主人 (五七ノ七)

お岩稲荷 (四卷)

—の旧蹟〔四ノ〕 (二八〇ノ一四)

歐洲戦乱 〓英國 〓青島戦役をも見よ

— 辨 (四六一、四六二、四六三、四六四)

— 日誌 (四六五、八六、四六六、五三)

御講汁

— 及剝船 方寸舎 (一六〇、二〇)

伊勢地方の — 方寸舎 (二五八、一五)

四日市地方の — 虎峰 (四五三、二〇)

四日市地方の御講 伊達虎峰 (三三〇、五)

おかげ考り

— 高橋おろか (一六、四)

文政年間 — の統計 丙水子 (四五六、三八)

小笠原島

— の躑躅捕獲法 大久保萩外 (一五四、一三)

小笠原遊覧圖會 (三四四)

小縣郡

信濃國 — 名勝 小山真丈 依田川流域の部 (四〇二)

三三、四〇三、三四) 神川流域の部 (四〇五、三四) 塩田川流

域の部 (四〇六、三一)

尾形乾山

— の墳墓保存 (四二九、一六)

男鹿生剥の祝

秋田の鎌倉祭及び — 「因入」 うきよ (二〇二、八)

同場所

— 考「因入」 豊芥子 (一三二、一六、一三三、一五、一六六、一七〇、九、

一八〇、八、一九〇、二、二〇〇、七)

— に就て 中島緑也 (三三二、四、三三三、七、三三六、四、一、

三六五、三、三六六、三

—の事に關する寄書 (三八七、七)

男鹿半島

秋田男鹿島各勝 (大日本各所國會第七十号 明治四十二年八月)

羽後男鹿島の風俗 舟谷積山 (一三二、一七)

男鹿島廻り 杵屋旭水生 (二四四、三六)

お釜おこし

—「田入」 渡部乙羽 (四八、一六、江戸市中世渡り種

其四ノ内)

同本三右衛門

切支丹牢獄並—の墓 筈の家 (七〇、五、七二、五)

同本柳之助

—氏 (四三三、三七)

同山城

—「田入」 井川八重 (一九、一三)

興玉祭

二見の— (三九九、八)

興津

—海水浴開場 画報生 (三四六、一一)

白頭公釣

—の説 林天然 (三七九、二三)

沖繩

—「写真入」 井上華園 (四六六、二、四六六、二、四六四、

二七、四六六、四四、四七二、二、四七三、一六)

—の酒宴 海南生 (四四九ノ三六)

—風俗国会 (二二七)

沖永良部島

大隅 —の異習 鹽雞舎主人 (三一六ノ八)

荻生徂徠

—生長の地 ジ、ハヤシ生 (二六ウ三九)

奥澤村九岳佛來迎會

—「西入」 島崎柳塢画及解 (七七ノ一六)

屋上制限

—の警視廳令 画報生 (三六六ノ二七)

奥女中 月大奥子長句を山見よ

御首神社 (美濃國安八郡荒尾村)

— 風來庵 (三五〇ノ三五)

尾久村 (東京府北豊島郡)

尾久之釣魚 桔梗生 (二七三ノ三六)

奥山 了淺草公園を見よ

巨椋湖 (山城國)

—の蓮 伊達すみれ (三三四ノ三六)

楠狭間

—の古戦場「因入」 本間天岳 (二七八ノ三三)

楠屋

—の 尾形月耕画 山下重氏解 (二四四ノ一九、新撰)

百工圖其五十六)

おこし見世

—「因入」 花淚生 (二〇〇、三〇、江戸市中世渡り種、

内)

おこそ頭中

— 江本定男 (四六七、六、風俗閑話、内)

御事始 針供養を見よ

をさき狐

— 古賀半仙 (四、一六)

尾崎紅葉

— 臨終の地 (二八二、三九)

おさしれ石

—「因入」(毎年元日幕府大奥ニテ行フ儀式) 大槻如電

(二四、一〇)

押繪師

— 因 尾形月耕画 山下重氏解 (一三二、二、新撰

百工因共五十一)

雄島 (越前國坂井郡雄島村)

安島の — 友永景安春 (三二〇、四二)

白粉 王新毒を山見よ

お杉お玉

— 因 五渡亭因貞画 山下重氏解 (二四、九)

間、 — 小川稠吉 (一三四、二一)

伊勢間の山 — の歌 對月庵虎峰 (三七〇、二九)

牛谷坂 — の事 荒本田晃重 (二四〇、四、五十鈴

の落葉、内)

角い——のこまに(き) 小川稠吉(一四六、一三)

お染風

—— 花見病史(二五、二三)

織田有楽齋

——の墓(四四二、四五)

御田植式

「住吉」——「福」種子詩をも見よ

御田植祭

「伊雑宮御田植式」をも見よ

伊雑宮——「因入」

宇都宮富治(二七三、二)

落合村

—— (大日本名所図会第九十号、東京近郊名所図会

第十七、西部の部其四ノ内)

落葉搔き

——「因入」 賀陽生(三一〇、三、甲斐世渡種ノ内)

御茶の水

——「安藤廣重画入」 山下重氏(四四六、一、東京の今

昔ノ内)

おちよ舟

——「因入」 渡部乙羽(五三、一〇、江戸市中世渡り種

其五ノ内)

臘胸

臘虎——ニ獣獵「因入」 野口勝一(一〇八、二〇、二一〇ノ

二八、二二、一七)

乙卯

——の歳 春生(四六五、一六)

おでんや

一 圖

渡部乙羽

(六二六、江戸市中世渡り種ノ内)

小門 (下ノ門)

一の勝

藤井直二郎 (三六八、三〇)

御頭祭

撰津の 一 [古岡入]

(四〇五、九)

男山八幡宮

一、疫神祭、付仰の日の神事

千種堂常娥 (三二七)

三)

青無明神祭

伊豆伊東の 一

香雲 (二七八、四)

乙姫瀧 (美濃国郡上郡八幡所)

一 吾妻家小メ (三四三、三三)

踊

「蘆辺」 一 「神樂」 一 蝙蝠 一 「獅子舞」 一 唐人 一

「ま念佛」 一 「ハ子」 一 花 一 「振附師」 一 高 一

「舞」 一 都 一 見よ

一 百壽 尾形月耕画 玩古道人解

志賀山三番叟 (九〇、二〇) 梅枝源太 (九一、二六)

辰駕色相肴 (九三、二五) 橋本慶 (九九、二五)

老朽 (一〇〇、四二) 苦心賣 (一〇二、二二) 一名二面

将門 (一〇四、二四) 浦島 (一〇六、二八)

供奴 (一〇八、二一) 英執着獅子 (一一〇、二〇)

喜撰 (一一二、一九) 善玉悪玉 (一二四、一八)

松風 (一二六、二一) 娘 (一二二、二五)

関扉 (一三三、三三)

鞍馬獅子 (一二五、二七)

汐段 (一二七、二六)

道成寺 (一三〇、二五)

老松追考 (一三三、二七)

文屋康秀 (一三四、二六)

手習子 (一三七、二五)

忠信通行 (一三八、三一)

草摺引 (一四〇、二〇)

紅葉狩 (一四二、三〇)

夕霧 (一四四、二八)

晒し一名近江のお舞 (一四六、二四)

朝妻 (一四八、二五)

雷船人 (一五〇、二五)

蜘蛛の拍子舞 (一五二、三〇)

鞆猿 (一五四、三〇)

白洒賣 (一五八、二五)

お染久松 (一六〇、二八)

山姥 (一六五、二二)

水賣 (一六六、二七)

保名 (一六八、二八)

深人 (一七〇、二五)

菊悪童 (一七二、二八)

小原女又黒本賣 (一七四、二八)

釣狐 (一七八、三三)

萬歳 (一八〇、二七)

越後獅子 (一八五、二五)

粟島 (一八七、二一)

廿太夫 (一九〇、二五)

子守 (一九四、二五)

左左ナリ甚五郎 (一九八、二〇)

子宝左ナリ三番叟 (二〇四、二四)

鯉賣 (二〇〇、二〇)

鞠當 (二〇四、二七)

玉兔 (二一六、二九)

鹿島 (二一九、二一)

太神楽 (二二三、二四)

梅の春 (二二五、二五)

夜櫻 (二二九、二四)

藤娘 (二三〇、二八)

廿太夫 (二三三、二五)

花見奴 (二三五、二八)

百夜草 (二三八、二二)

花見奴 (二四〇、一九)

鳥羽絵 (二四二、二四)

高砂丹前 (二四三、一九)

勢獅子 (二四七、九)

相模壺 (二四九、一〇)

女文字(二五三、三〇)
 花車(二五五、二五)
 助六(二五八、二〇)
 おしや、徳兵衛(二六一、二四)
 玉や(二六四、二八)
 両全御用(二六七、二〇)
 湯上りお俊(二七〇、二五)
 江の島(二七六、二五)
 庄り橋(二七九、二七)
 内裡模様(二八三、二八)
 桐撲(二九〇、二七)
 鶯奴(二九四、二五)

小琴奏惣(二五三、一三)
 帯引(二五六、二四)
 一人杭久(二六〇、二四)
 鶴亀(二六一、二五)
 屋敷娘(二六五、二二)
 歌徳恵山吹太田透隆(二六八、二二)
 袴屋(二七三、二六)
 八段目通行(二七八、二五)
 三保松(二八一、二六)
 門傾城(二〇七、三〇)
 百まなこ(三一三、二七)
 二人石橋(三一六、二四)

安宅(三二八、二一)
 鞍馬山(三三三、三三)
 小倉山(三三六、二七)
 大羽子板の源太(三三三、二五)
 浅間(三三六、二〇)
 ーの下おらひ 中川愛氷(四七〇、一〇)
 安政年間ー、後楽屋図 尾形月耕画(四〇六、首)
 名古屋ー(雷月花) 千種堂尺牘(一四六、二七)
 婦女手ーを見る図 西川祐信画 花淚生解
 (一一四、七)

尾長やすり葉賣

宮島春齋(一五四、八、京都賣物屋風俗、内)

小名木川

オナリオニ

— (大日本名所図会第八十一号、東京近郊名所図会第六東郊の部其三ノ内)

鬼

福 — 左右競 (四一七、二六)

鬼追

長田神社の — 永井損津雄 (三七七、八)

鬼ごっこ — 子遊戯を山見よ

上田地方 — の歌 飯島喜笑 (二二二、二四)

鬼の捕獲法(上總の遊戯) (四〇四、一四)

鬼祭

— (備中國窪屋郡筭沖村式内郷社葦高神社) (二〇、一〇)

豊橋市の — (四三〇、五)

オ子オミテ念佛

— 「因入」 中司和春 (八〇七)

小野我鳥堂

— 筆、徳川家康の遺訓 (四四三、首)

小野篁

参議篁の後裔 (四三一、四二)

小野蘭山

— 先生百年祭 (三九六、一一)

尾上菊五郎

三代目 — の墓 香雪 (三二六、三九)

鉄将水

オナリガハ

七十七

「因入」 花渡生 (一〇七ノ三〇)

―をつけ居る因 (六四ノ二七、貧家春を待つ因ノ内)

涅槃に就ての寶閣「因入」 黒留堂主人 (二三ノ二五)

涅槃の風習「高山青嶂画入」 山下重氏 (四四ノ一三)

おほぐろ壺

紀州加太淡島神社 ― に就て「因入」 高山聖 (二〇)

(一五)

おほじき

― 廣田星橋 (二〇二、二七、新古童遊びノ内)

御柱祭

信濃岡三の宮 ― 小山珍事堂 (一四八、五)

お初徳兵衛

―の墓 不二山人 (七〇ノ三〇)

お初火

名古屋の ― 伊達虎峰 (三〇七、一一)

小濱藩

田若州 ― 佐藤菊三 (三四九、二四、旧幕府諸藩の状

況ノ内)

小原女

― 大川通久 (一三三、風俗綺話ノ内)

―と早乙女「名和永年画入」 乙羽 (四一、一八)

西京の ― 因 川崎千虎画 (三ノ裏絵)

尾張國

尾張自慢 醉霞居士 (一四六、二〇、一四八、二二、一五〇、二二、

一五三、二六、一五四、二五

帯

女—結やりの事 宮島春齋(一一二、一一、京極風
姿くさくさノ内)

笈

大江山鬼賊退治に負ひしと不古—「因六」 写樂
齋(一九四、一九)

追鳥狩

旧會津藩の— 海老名季満(一九六、四)

帯直の祝

—及袴着「因六」 川崎千虎(四八、七)
追羽根 羽子(きを見よ)

帯結び祝

信濃の— 小山珍事堂(二七八、五)
お百度詣り

信濃國の千社詣りと— 小山每水生(三九七、一九)
追台節

函館の— 山下重氏(三七四、一七)
大井川

—歩渡の圖(一九、首、旧幕府驛傳の因ノ内)
東海道中—の圖 五雲亭貞夫画(四六四、首)

大石忌

—(三八三、一七)

大石真虎

長汀曲浦樓 (四五五、六〇)

大石良雄

忠義之礎 (三九五、二七)

大井神社 (駿河國志太郡島田町)

—の大神 飯塚九如 (六二、七)

大磯の虎 子虎御前を見よ

大分郡

豊後—墓所一覽 阪田金太郎 (三七九、三四)

豊後—名所 阪田金太郎 (三七六、二一)

城

豊後—古城址 阪田金太郎 (三七七、二五)

大分縣

—の名物 佐藤富美古 (三七二、二七)

豊州線新驛附近の名所古蹟 小千通為 (四三三、四八、

四二五、三一、四三〇、三四)

大井町

— (大日本名所図会第八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、

名所図会第八、九、南郊の部其二、三、内)

大内、觀世音

駿河— 香雲 (二四三、二九)

大江山祭

丹後國加佐郡— 井村剛治 (二六七、一一)

大奥 日鏡餅成り年忘れ狂言「長句」を見よ

江戸城—雪中御投物尺竹政直画入 蓬軒

(四九、六)

御本九——御廣敷の厄拂圖 蓬軒居士 (六四、一六)

御本九——年中行事二月初午稻荷祭之圖 武内

桂舟圖 蓬軒解 (五〇、首、五〇、三)

御本九——年中行事——山里御花見之圖 寺崎廣業画

蓬軒居士解 (五一、首、五一、一〇)

御本九——年中行事——灌佛會圖 寺崎廣業画

蓬軒居士解 (五二、首、五二、一七)

御本九——年中行事六月十六日御嘉祥頂戴之圖

寺崎廣業画 (五五、首)

御本九——御嘉定の儀式 蓬軒居士 (五五、九)

御本九——年中行事七月七夕祭之圖 寺崎廣業画

御本九——七夕並中元の式 蓬軒居士 (五六、五)

御本九——年中行事八月御根引及月見之圖 山田

教中画 蓬軒居士解 (五七、首、五七、一五)

御本九——年中行事九月吹上御庭首狩圖 寺崎廣

業画 蓬軒居士解 (五八、首、五八、四)

御本九——年中行事十月御膳所荒神祭之圖 寺崎

廣業画 蓬軒居士解 (五九、首、五九、一三)

御本九——年中行事十一月——御住居、御鳥使

之圖 寺崎廣業画 蓬軒居士解 (六〇、首、六〇、六)

御本九——年中行事十二月節分御祝儀之圖 寺崎

廣業画 蓬軒解 (六一、首、六一、三)

御本九——お犬山供の春興(四又) 蓬軒居士 (二五六)

四

御本丸——お末詰所の惠戯「大竹政直画入」 (七二四)

御本丸——の火事使「大竹政直画入」 蓬軒居士

(六六、六)

御本丸——の新考舞「大竹政直画入」 蓬軒居士

(六六、二〇)

御本丸御末の春興「富田秋香画入」 蓬軒居士

(二八〇、四)

徳川——御中老の威衰「歌川国房画入」 二橋生

(六九、一六)

時世粧所載寛政年間徳川氏奥向之图 初代豊国画

(三二、首、三三、首、三四、首)

大奥御寢所

御本丸——「图入」 (五九、一四)

大垣

——町 近藤頼柳 (二四二、三三)

大垣城

—— 土屋兵馬 (三五〇、三五)

大木村

—— (大日本名所图会第七十九号、東京近郊名所图会第四卷部其一、内)

大國魂神社 (武藏国存中)

——「图入」 (三三七、上金井名所图会、三六)

存中町——の祭典 安戸浩助 (三一四、二)

大久保

—(東—、西—、—百人町) (大日本名所図会第

九十一號、東京近郊名所図会第十六西郊の部其四、内)

大倉喜八郎

大倉氏古稀の寿誌 画報生 (三五四、一八)

大掃除

東京市清潔法實行の景況 山下實次 (二〇二、一一)

大坂

—所見 佐藤菊三 (三〇七、一五)

—所見「田入」 三輪青谷 (一一五、一八、一三三、一八、一三四、一六)

—の橋梁 N.S.生 (二二〇、三二)

—の寺院生活観 戸居人 (四六五、九、四六六、一九)

菊に色彩る—の天地 三浦おいろ (四七五、四五)

浪華の三美観 佐藤菊三 (一四六、四)

法善寺附近 杉山是水 (三二七、二)

雪の— 洗線生 (三五九、一〇)

火災

—の大火(明治四十二年八月三日) (三九九、三九)

—の大火(明治四十五年一月十六日)「写真」 (四二九、二八)

風俗

—風俗 永井孝蹊堂 (三三三、一一)

—風俗はかき 永井孝蹊堂 (三一四、五、三一六、八、三三二、

三二、三四、九)

浪花風俗圖 田口年信画及解

貸餅搗(二二一、四)

嫁入祝既物(二二二、二)

出替(二二五、一〇)

稲荷祭(二二七、七)

東西屋(二二九、六)

出替周(二三〇、四)

文師詣(二三三、一五)

藝子(二三五、九)

作事方(二三七、九)

芝居の事觸(三三八、一一)

生洗屋(三四〇、七)

維新前の被^カ初(三四三、九)

はい遊(三四三、一〇)

爆竹(三四五、六)

観音講(三四七、五)

仲仕(三五五、一四)

夜高人(三五六、五)

明治前の三十石衆合船(三五八、八)

花柳枝の壁紙、藝妓屋の縁壽(三六〇、一三)

物干場の散財(三六一、八)

涼船の義太夫(三六三、六)

舞妓(三六四、一〇)

大七人まよ(三六五、一〇)

中山の御詠歌踊り(三六七、一三)

人力車帳場、唐辛賣めん、たのちどり、女學生(三六八、四)

大仁村の飾午(三七〇、五) 猫買し遊び(三七三、一六)

堂島の信孫(三七六、五) 蠣料理(三七八、一七)

夜番(三七九、二〇) 以下黒崎修画

歳越し枕はづし厄おとし(三八三、一三)

ぼへん(三〇七、一七) まんた(三一〇、六)

播味嚙商(三一三、一〇) くりや、磨き砂賣(三四、五)

灸点(三三八、四) くき屋、すくき賣(三三〇、六)

ありひや(三三三、二二)

まけぎらひ(平亭銀鷄著街、噂ノ抄録) 紫園逸人

(九一、三)

カホ

十四

名所

—の諸名勝 佐藤菊三 (二六五、二九)

—名所案内記 佐藤菊三 (二六七、二九)

大阪築港

—の起工式「図」 画報子 (一五二、三)

大阪城

— おろか (四二、一九)

—「図」 社会散士 (三四、一四)

—「御殿図」 宮崎幸磨 (四六、一九、四七、一九、四八、

二二、四九、二六、五〇、一九)

—「本丸櫻門真図其他図」 静修散史 (五一、二一、

五二、二四)

大阪役

おきく物語「崋山画」 (四四五、三七、四四六、三三)

大阪落城図 松本楓湖画 (四、一八)

大崎

—下— (大日本名所図会第八十三號、東京近郊

名所図会第八南郊の部其二ノ内)

大崎富士

—復讐の碑 (二八二、一五)

大澤温泉

— 村井兼松 (二三五、二九)

大塩

會津—の塩井 春二生 (二五八、三一)

大塩事件

大塩騒動の落書 矢崎曉波 (四五六ノ九)

大島

—の風俗 (四二四ノ一六)

—の風俗「写真入」 徳川享 (四六七ノ一八)

大島町

— (大日本名所図会第八十一號、東京近郊名所圖會第六、東郊の部其三ノ内)

大洲

伊豫—の名所 松井信惠 (三二〇ノ四一)

大堰神社 (加賀國江沼郡山代村)

— きの字生 (三四九ノ三二)

大せんきよ

— 田口年信画及解 (三六五ノ一三、浪花風俗百圖ノ四)

おほたい節

上總地方の— 林天然 (四一〇ノ一七)

大瀧山

備前—と日本一臥龍松 釣遊生 (二五六ノ三四)

大田南畝 「清誓文學を山見よ」

蜀山人墓 (三五二ノ七)

武家の笑話の質 方寸舎 (二六二ノ四六)

大谷光勝

東本願寺葬式圖絵 (六八)

大田町 (上野國) 「東武鉄道を山見よ」

大築中將銅像

—の除幕式 (四一〇ノ五)

大鳥神社 (大改府下泉北郡鳳村)

—の花摘祭 永井根津雄 (三六二ノ四)

大鳥村 (羽前國東田川郡大泉村)

—神代の遺風 河名文助 (三二八ノ五)

大野海水浴 (尾張國知多郡大野町)

—紅の家おいろ (二七三ノ三七)

大野郡 (越前國) 戸荒島岳を山見よ

大野湊神社 加賀國—千二百年紀念祭 五峰庵 (二三八ノ二)

車前

—久水章武 (二五三ノ二、二五五ノ二)

大被

六月— 山下重氏 (五五ノ三、五六ノ三)

大原村

— (大日本名所圖會第七十五號、京都名所圖會卷

八路北ノ内)

大原女

— 五渡亭國貞画 山下重氏解 (一二一、一二、浮世

名異女圖會ノ内)

—考「圖入」 三輪青谷 (五一ノ二八、五五ノ一四)

—の事 萬里春 (五三ノ一二)

大榎燒

加賀名産—— 五峰庵 (三一〇ノ一五)

大晦日 『歳暮を見よ』

大峰 (大和國) 『峰入を見よ』

大森町

—— (大日本名所圖會第八十六號、東京近郊名所圖

會第十一、南郊の部其五ノ内)

大谷^{オホヤ}観音 (下野國河内郡大谷村)

—— 『請る記』(内) 柯北小史 (二一四ノ三三)

大山町

羽前國西田川郡——の風俗『内』 出羽亭莊内

(二〇二ノ六、四一七、一五)

御前崎

遠江——の燈臺 香雲 (二六二ノ三八)

おまんが鮎

—— 『内』 渡部乙羽 (四五、一二、江戸市中世渡り種

ノ内)

小御門神社

別格官幣社—— (二七四ノ二五)

女郎花

—— 林天然 (四二五ノ三四)

玩具 『手遊賣を見よ』

——の話 瓶水漁夫 (三九四ノ一四)

有害着色——の取締 画報生 (三六六ノ三二)

岩代喜多方辺の小供の—— 長美生 (二五三ノ八)

軍國の

画報生

(三〇七、二七)

昨今の

画報生

(三七二、一五)

南英文庫の

陳列

(四〇四、一六)

日奈久温泉の

名物

翠竹居百年 (二三五、一七)

婦人博覧会出品の

類図

山本松谷画 (三六八)

ニ〇、三六九、一四)

おもちや屋

現今各商店の

図、其五

山本松谷画 (八八、首)

寫陵匠人解 (八八、六)

萬年青

—「図入」

(二〇二)

—「図入」

世の家

(一〇四、二三)

萬年青師

—「図入」

(八五、一、二、江ノ市中世渡り種ノ内)

おやま踊

了任舞音節を以て

伊勢古市

五渡亭國貞画

山下重氏解

(二二六、九、諸國名異女図会ノ内)

小山観音

(美濃國加茂郡下米田村)

—

佐藤寿義子

(三七七、二九)

小山寺

(常陸國西茨城郡北那珂村)

富谷山

あしのまろ家

(四七三、三、常北の名社と

古刹とノ内)

尾山神社

—昇格慶賀祭「図入」

五峰庵

(二五六、二)

加賀金澤の——池田ひげろふ (一五〇、二七)

和蘭人

掛川の蘭人古墳 画報生 (三五七、四〇)

音楽

——の龍啞 佐々醒雪 (三八三、一)

日本——の保存 画報生 (三七二、一七)

音楽隊

東京少年——團入 (九七、二二)

東京府下現在の——「山本松谷画入」 琴の家小仙

(一〇〇、五三)

音楽堂

日比谷——開堂式 画報生 (三三三、一一)

温泉

大隈伯爵室内の——「團入」 橋本桔梗 (二七三、二一)

温泉

——游浴 山下重氏 (七四、一)

——談 珂北仙史 (七一、八、一)

——のめぐり 左文郎 (四七六、五三、見し事聞し事

ノ内)

因幡國——浴客風俗 (六二、一三)

御衣祭

—— 一春狂史 (四一、九)

熱田の—— (三九八、四)

三河豊橋—— 大田才次郎 (七七、七)

御嶽神社

(伊勢國一志郡伊勢地村大字三多氣)

— 櫻郷生 (二三〇ノ三一)

女商人

「三物賣」とも見よ

加賀國河北郡根布村—の風俗「因入」 耕納雨柳子

(一三四ノ一九)

女髪結

「五頭髪」とも見よ

— 如洗画 (二六〇ノ三四、當世女百姿ノ内)

— 「因入」 渡部乙羽 (四七、一四、江戸市中世渡り種

其三ノ内)

— の服装 花淚生 (二三二ノ二六)

江戸の—「因入」 鶯陵迂人 (二ノ一四)

新に起れる— (東京女子美髪學校)「因入」 (四五ノ

(一四)

女義太夫

— 沿革考、附寄席「因入」 廣田星橋 (一三四ノ二八、一三七)

二六、一四〇ノ二〇、一四二ノ三四、一四四ノ三三)

— 竹本新六「山本松谷画口繪」 無松庵 (一九二ノ二三)

— 硬派の— 無松庵 (一九二ノ二三)

— 當今の—「山本松谷画入」 花淚生 (二八五ノ二八、二八八)

一九、一九二ノ一九、一九八ノ三三)

— 娘義太夫竹本京子並に京枝の圖 山本松谷画

(一八五ノ首)

女俳優

— 京都の— 宮島春齋 (一三八ノ一二)

オン

九十一

23
8

乳母日卒

慶安頃一圖解

(五ノ一五)

オンバイ

西遠南部の一

文狂子

(ニ〇ノ八)

終